

# I 平成26年度事業報告

## 総括

### 1 役員会の開催と主な事項

#### (1) 評議員会・理事会の開催と主な事項

- 平成26年 4月17日 第4回理事会 平成25年度決算承認、業務方法書の一部改正、役員等報酬規程の一部改正
- 平成26年 4月17日 第4回評議員会 平成25年度決算承認、理事の補欠選任、役員等報酬の一部改正ほか
- 平成26年 9月 8日 評議員、理事、監事合同による牧場視察研修(鳥取放牧場・河合谷牧野) 平成26年度業務執行状況報告ほか
- 平成27年 1月20日 第5回理事会 平成26年度補正予算の承認、平成27年度事業計画・予算の承認ほか
- 平成27年 1月23日 第5回評議員会 平成26年度補正予算の承認、平成27年度事業計画・予算の承認

#### (2) 監査

平成26年3月28日 平成25年度決算監査

### 2 各事業報告

#### (1) 放牧預託事業

平成26年度の放牧延べ頭数は、計画378,550頭に対して実績は373,677頭と4,873頭少なくなったが、これは肉用牛の冬期入牧頭数の調整を行ったことにより減少したものである。これに伴い、預託料収入は予算219,360千円に対して216,539千円となり、2,820千円の減額となった。

平成25年度対比をすると下表のとおりで、預託収入は前年対比105.6%と約11,454千円の増額となった。この要因としては、平成26年4月1日から消費税率の引き上げと、乳用牛の預託料金改正(値上げ)を行ったことによるものであった。

牧場名	畜種	預託延頭数(頭)		預託料収入(千円)		前年対比(%)
		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	
鳥取	乳用牛	138,432	147,679	77,522	88,813	115.6
	肉用牛	66,296	60,120	29,833	27,717	92.9
大山	乳用牛	174,518	165,878	97,730	100,009	102.3
合計	乳用牛	312,950	313,557	175,252	188,822	107.7
	肉用牛	66,296	60,120	29,833	27,717	92.9
総計		379,246	373,677	205,085	216,539	105.6

(2)人工授精・移植・採卵事業

平成26年度事業計画は人工授精1,864頭、受精卵移植270頭、採卵事業150頭としての収入を予定していたが、採卵実施頭数が大幅に増加したことにより、手数料収入の増収となった。

採卵・移植希望は年々増加傾向にあり、採卵・移植関連事業は放牧預託事業に次ぐ重要な事業となるものと思われる。平成25年度との対比は下表のとおりである。

i)収入状況

区 分	事業名						収入合計 (千円)
	人工授精事業		受精卵移植事業		採卵事業		
	頭数 (頭)	収入 (千円)	頭数 (頭)	収入 (千円)	頭数 (頭)	収入 (千円)	
平成25年度	1,501	2,848	176	2,152	112	4,855	9,855
平成26年度	1,563	3,290	249	4,261	189	8,620	16,171
前年対比(%)	104.1	115.5	141.5	198.0	168.8	177.5	164.1

ii)受胎状況

《人工授精》

区 分		平成25年度			平成26年度		
		実施数 (頭)	受胎数 (頭)	受胎率 (%)	実施数 (頭)	受胎数 (頭)	受胎率 (%)
鳥取	乳用牛	530	274	51.7	664	325	49.0
	肉用牛	286	150	52.5	223	66	29.6
大山	乳用牛	685	362	52.9	676	318	47.1
合計		1,501	786	52.3	1,563	709	45.4

《受精卵移植》

区 分		平成25年度			平成26年度		
		実施数 (頭)	受胎数 (頭)	受胎率 (%)	実施数 (頭)	受胎数 (頭)	受胎率 (%)
鳥取	乳用牛	221	132	59.7	386	177	45.9
	肉用牛	7	4	57.1	91	7	7.7
大山	乳用牛	85	40	47.1	103	62	60.2
合計		313	176	56.2	580	246	42.4

(3) 牧草管理事業

本年度の牧草収穫面積は、ほぼ昨年同様の面積を確保したが、鳥取放牧場の兵円牧野、河合谷牧野で収量が大幅に減少したことにより、昨年比76.3%と落ち込んだ。

これは、牧野の有効土壌が浅いため、牧草の根の活着が悪かったことと、施肥と有機質肥料の投入が不十分であったことが原因と思われる。

また、大山放牧場においては、約10%の草地を雑草対策のために草地更新を行ったが、牧草平均収量は増加した。

牧場全体では、草地の肥培管理の充実を行ったが、1ヘクタール当りの平均収量は9.5tと昨年比90.5%の減少傾向を示した。

i) 牧草生産状況

区 分		鳥 取	湖山畑	大 山	計
採草面積	平成25年度	58.5ha	26.0ha	74.4ha	158.9ha
	平成26年度	56.5ha	26.0ha	68.1ha	150.6ha
	前年度対比	96.6%	100.0%	91.5%	94.8%
牧 草 収 穫 量	平成25年度	629.0t	604.5t	429.6t	1,663.1t
	平成26年度	480.0t	543.0t	414.0t	1,437.0t
	前年度対比	76.3%	89.8%	96.4%	86.4%
平均収量	平成25年度	10.8t/ha	23.3t/ha	5.8t/ha	10.5t/ha
	平成26年度	8.5t/ha	20.9t/ha	6.1t/ha	9.5t/ha
	前年度対比	78.7%	89.7%	105.2%	90.5%

ii) 自給率

区 分	牧草購入量	牧草収穫量	自給率
平成25年度	1,606.2t	1,663.1t	50.8%
平成26年度	1,779.5t	1,437.0t	44.7%
前年対比	110.8%	86.4%	88.0%

iii) 草地更新

区 分	鳥 取	大 山	合 計
全 面 更 新	2.0ha	0.0ha	2.0ha
簡 易 更 新	14.9ha	4.3ha	19.2ha
合 計	16.9ha	4.3ha	21.2ha

#### (4) その他収入状況

鳥取放牧場の草地の表土が少ないことにより、牧草収量増に繋がらないことから、鳥取県が処理に困っている湖山地浚渫土をこの草地に受け入れ土壌改良を図ることとした。この浚渫土は本年度から4年間程度で合計4万㎡受け入れ、今年度は約400万円の草地造成委託料を受け、約2ヘクタールの草地更新造成を実施した。

また、鳥取県の経済対策事業委託として、臨時職員2名を新規就農候補者とし、その経費に対して委託料を受け入れた。

#### (5) 支出状況

自給飼料の1ヘクタール当りの生産量は年々向上しているものの、本年度は採草面積の減少に伴い、前年度収量を割ったことから、購入飼料量を増やす必要であった。

また、購入飼料の1kg当りの単価が昨年度の平均単価より当り5～10円高騰したこと併せ、消費税率が引き上げられたことにより、前年度に比べ約26,000千円の増加となった。

#### (6) ふれあい牧場等の整備

大山放牧場のふれあい施設「大山まきば」は大山乳業農業協同組合に管理委託し営業している。

今年度は3月21日から12月7日まで246日間開場した。8月・10月の台風上陸による臨時休業、8月の天候不順による入場者の減少があったものの、来店者数・客単価等は昨年と同程度であった。

来場者数は303,533人で昨年対比100.2%と横ばいであった。

### 3 業務内容の見直し、改善事項

牛舎で飼養する場合、預託牛の健康維持・管理のために床の敷料の量は重要な要素で、特に冬期間は厚く敷く必要があることから、敷料を安定的に確保するために、新たにオカ粉製造機を鳥取県から導入(貸付契約)してもらい、自家製オカ粉製造に取り組んだ。

その結果、従来のもみ殻とオカ粉を併用することで床に十分な敷料を敷くことができ、冬期間牛舎で飼養する牛群は落ち着き、発情効率・発情・妊娠率の向上に繋がった。

## 事業報告に係る附属明細書

記載事項なし